

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	チャイルドウィッシュ三崎		公表日		2026年1月10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・とても広く、使い勝手の良い施設である。	・備え付けの長机と自由に動かせる椅子をさらに有効に使ってきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0		・表示と併せて、使ったペーパータオルの処理の仕方等について繰り返し子どもに伝えていく必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・遊具などを毎日消毒している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	・玄関横のスペースを整理し、スペースを確保できたことは良い。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	3	・話し合いの時間はないが、日常の会話などで話題にしている。	・こどもの支援についてまとめてじっくりと話し合う時間を確保したい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		・個々の支援の方策について、会議棟でさらに多様に話し合いたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2		・行政等にて呼びかけられる研修を軸に、共有できる機会を増やしていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		・人員の入れ替わりがあったので、共有をしていく必要がある。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2		・共有する時間を確保し、何を目標に行っているかを理解しあいたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0	7		・「標準化されたツール」というものについて学び始める必要がある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	4		・家庭との共有や地域との連携が手薄。 ・地域支援、地域連携が現状ではなかなか難しい。施設の交流会や作品展などを通して、地域とのつながりを少しずつ作っていく必要がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・人員の入れ替わりに伴い、時間はかかったが、これまで以上に充実してきている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	・固定化とは言わないが、恒例の活動を生み出して特色としたい。	

18	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		・高学年の子どもたちが、来所後に宿題を終えてから集団活動までの時間が少ない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	・活動について、ようやく担当がきつ々ある。 ・活動の記録は残している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・必ずではないがライン等で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	3		・人員の入れ替わりもあり、すべてとは言えないが配慮している。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	4		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	7		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	・積極的に発信してくださる学校が増えている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	7		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	7		・今年度末に初めてこうしたケースを迎えるので、できる限り提供できるようにする。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	・豊明市や支援センター等からの「ヒアリング」の機会はとても有意義であった。 ・ひまわり作品展に伴う、交流・連絡調整はとてもよかった。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		・連絡調整は良く行えているが、なかなかいっしょに活動する機会はまだない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・活動記録や写真の送付などは、とても効果的である。	・返信をしてくださる家庭をもっと増やしていく必要がある。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	7			
19	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	2		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6	・保護者会、父母の会等は行っていないが個別に対応している。	・今後ご家庭とも意見交換しながら、どのような形が望ましいかを検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・定期的とは言えないが、随時行い、その頻度も高い。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	0	7	・保護者会、父母の会等は行っていないが個別に対応している。	・今後ご家庭とも意見交換しながら、どのような形が望ましいかを検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1		・学校休業日の活動、お出かけ先についてはもっと早く連絡したい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	・もう少し多く、ヒヤリハットの報告を集約すると良い。	・どの職員からも気軽に提出することができるように様式等も簡便にしたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		・どのようなことが該当するのかについて、共有をしていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2		・どのようなことが該当するのかについて、共有をしていく。	

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数		
チャイルドウィッシュ三崎		2026年1月10日				13		
		利用児童数				14人(実家庭13)		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		環境・体制整備	1	11	2			
	2	12	1					
	3	12	1					
	4	13						
適切な支援の提供	5	13						
	6	12			1		・「わからない」と感じられるご家庭がなくなるよう、支援内容の説明を積み上げていきます。	
	7	12	1			・家庭の声については、常に双方向でやり取りで来ておりあんしんである。		
	8	9	1		3		・「わからない」と感じられるご家庭がなくなるよう、具体的な場面で「移行支援」や「地域支援」についても話題にしています。	
	9	13						
	10	13					・毎日毎日、ありがとうございます。	・利用回数の少ない利用家庭に対しても他の日のプログラムが伝わるよう、今まで以上に情報を発信します。
	11	13		1		12		・児童クラブと併用している3家庭以外にも児童クラブについてお知らせしていきます。
保護者への説明等	12	13						
	13	13						
	14		1	3	9	・いつでも(毎回)、情報を貼真していただき、相談すれば快く応じてもらえる。	・毎日の子どもに関する情報交換から、大きな困りごとについても相談していただけるよう手だてを増やします。	
	15	13				・毎回、たくさんの文、画像、動画を提供してくれる。		
	16	11	1		1		・従来通り、多様な意見交換・情報発信を個別に行い、個別に家族支援を進めていきます。	
	17	13						
	18				5	9	・「父母の会」はないが、それで不都合は感じていない。	・「保護者同士の交流」については、各ご家庭の事情をお伺いながら、少しずつ形にしていきたいと思っています。
19	12				1	・いつも相談に乗ってもらっている。	・子どもからの相談については、従来通り進めていきます。ご家庭からの相談を受けることも多くありますので、その対応が可能であることを周知します。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13				・通信は発行されていないが、十分いろいろなことを伝えてくれている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			5	・豪雨、台風、地震など、タイムリーに何度も繰り返し「対応」を教えている。 ・緊急時における対応についての方策については、繰り返し情報を発信していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			2	・すべての曜日において、利用児童生徒に実効的な訓練を行います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		2	・「どちらともいえない」「わからない」と感じられるご家庭がなくなるよう、情報提供を積み上げていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13				・毎回嬉しそうに帰ってきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13				
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				